

科目等履修生(博物館学芸員課程)

博物館学芸員課程(科目等履修)では、「1、博物館法施行規則に定める科目(必修)」合計19単位の単位修得をもって修了です。
 (ただし、資格取得には日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有することが前提です)
 また、「2、関連科目(選択)」も履修することができます。

資格取得に必要な単位数

履修科目	必修単位数	選択必修単位数
1、博物館法施行規則に定める科目	19単位	0単位
2、関連科目	0単位	10単位
履修科目単位数合計	19~27単位	

資格取得に必要な履修科目

◆ TR テキストレポート科目
 ● S スクーリング科目
 ■ WS Webスクーリング科目
 必 必修科目
 選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2017年度開講予定のもので、一部、変更になる場合があります。

1、博物館法施行規則に定める科目(必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
博物館概論	◆	必	2	有	博物館の歴史、ならびに現代における博物館の存在意義について学びます。
博物館経営論	◆	必	2	有	博物館の運営について、経営的な視点から学びます。
博物館資料論	◆	必	2	有	博物館における資料の収集・整理・研究・還元という一連の流れを理解し、資料の効果的な活用について学びます。
博物館生涯学習概論	◆	必	2	有	社会における、生涯学習の目的と意義について学びます。
博物館情報・メディア論	◆	必	2	有	博物館が発信する情報とメディアの変遷を理解し、デジタル化する社会の中でのその活用の利点と問題点について学びます。
博物館教育論	◆	必	2	有	社会教育機関としての博物館の教育活動の理論と実践を理解し、博物館の教育機能について学びます。
博物館実習1(事前指導)	●	必	1		館園実習に先立ち、博物館の仕組みと全体像を理解し、その上で、美術品の取り扱いを通じ、学芸員としての基本的な心得を学びます。
博物館実習2(館園実習)	●	必	1		学芸員の仕事を実地で学びます。
博物館実習3(事後指導)	●	必	1		見学実習を行い、グループワークを通じて博物館の未来に対する洞察力を養います。
博物館資料保存論	◆	必	2	有	展示による資料の劣化を防ぐために、なおかつ良好な状態で後世に伝えてゆくために、博物館が行っている資料保存をめぐる環境整備について学びます。
博物館展示論	◆	必	2	有	展示の形態、展示メディアの種類、展示を通じての教育活動について理解し、展示を多角的に学びます。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。

2、関連科目(選択)

科目名	S/T	必/選	単位数	履修内容
芸術史講義(日本)1	■	選	2	日本の造形芸術について、その成立から平安時代、鎌倉時代を中心に学びます。
芸術史講義(日本)2	■	選	2	日本の造形芸術について、近世および近代の絵画史などを中心に学びます。
芸術史講義(ヨーロッパ)1	■	選	2	ヨーロッパの造形芸術の成立からイタリア盛期ルネサンスまでの展開を理解します。
芸術史講義(ヨーロッパ)2	■	選	2	盛期ルネサンスから20世紀はじめまでの造形芸術の歴史を辿ります。

※学習用Webサイト「airU」を利用するためインターネット接続環境が整ったパソコンが必要になります。